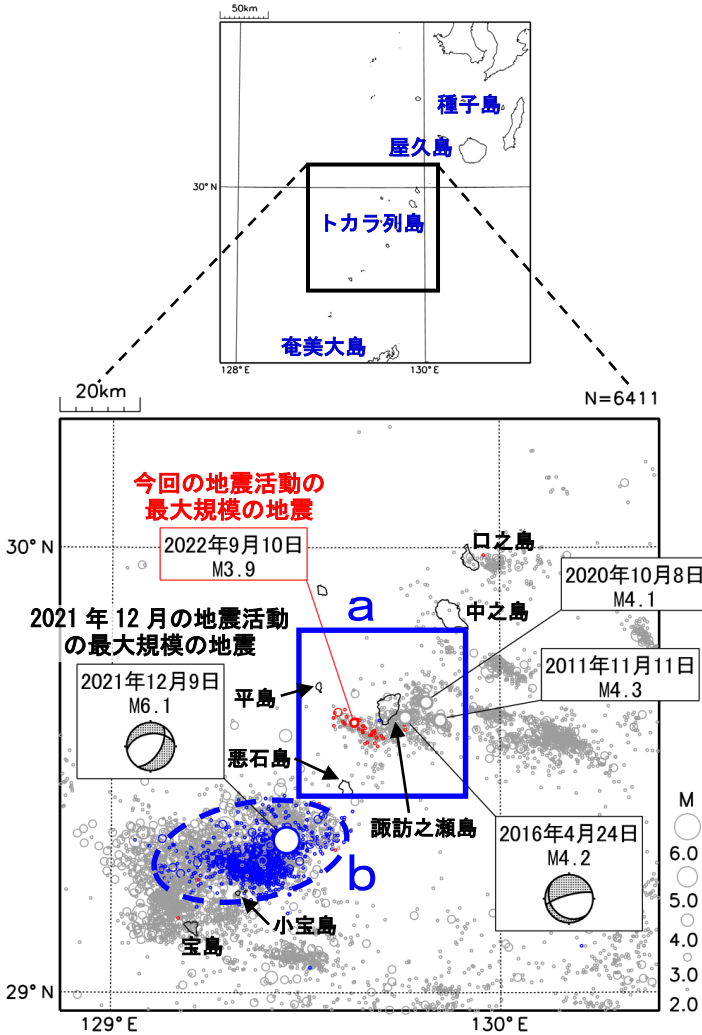


トカラ列島近海の地震活動（平島・諏訪之瀬島付近）

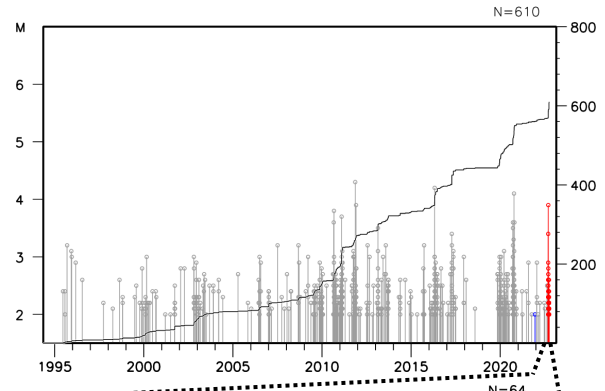
震央分布図
 (1994年10月1日～2022年9月30日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2021年12月の地震を青色○で表示
 2022年9月の地震を赤色○で表示
 図中の発震機構はCMT解



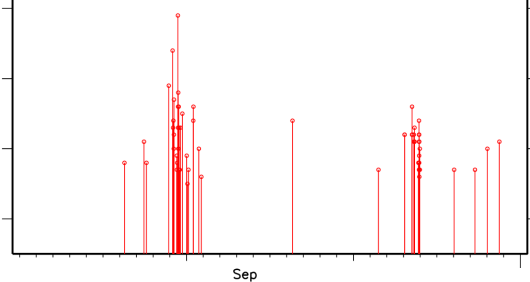
トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）では、2022年9月に震度1以上を観測した地震が16回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）発生した。このうち最大規模の地震は、10日11時35分に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。今回の地震活動は陸のプレート内で発生した。なお、9月26日から諏訪之瀬島では噴火活動が活発化した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。直近は、2020年9月から2020年10月にかけての活動で、震度1以上を観測した地震が14回（最大震度3：2回、最大震度2：5回、最大震度1：7回）発生した。また、今回の地震活動域の南西の領域（領域b）では、2021年12月に地震活動が活発となり震度1以上を観測する地震が308回発生した。このうち、最大規模の地震は、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）で、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

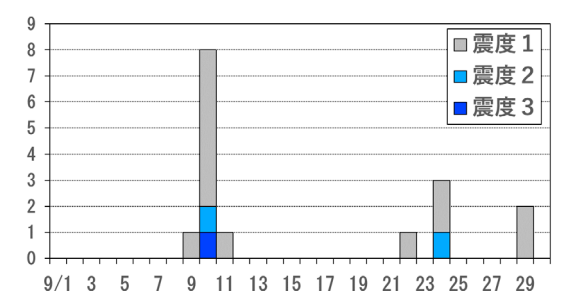
領域a内のM-T図及び回数積算図



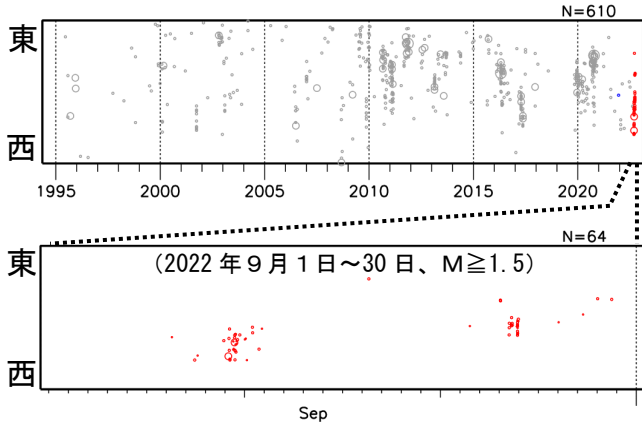
(2022年9月1日～30日、 $M \geq 1.5$ 、M-T図のみ)



震度1以上の日別最大震度別地震回数図 (震度1以上の日別最大震度別地震回数図 (2022年9月1日～30日))



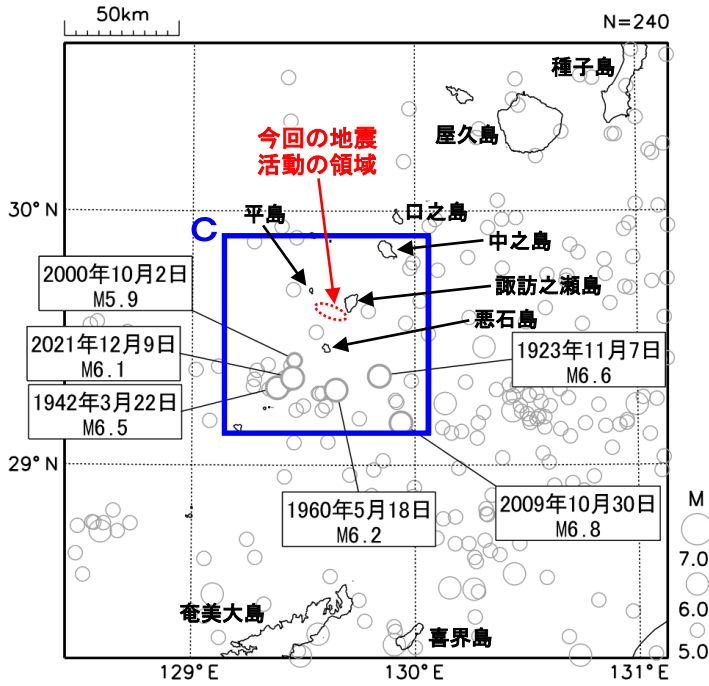
領域a内の時空間分布図（東西投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2022年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

M6.0以上の地震と2000年10月2日の地震に吹き出しを付加



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）で水道管破裂などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。また、2009年10月30日に発生したM6.8の地震では、枕崎で18cm、奄美市小湊で11cmの津波を観測した。

領域c内のM-T図

